

建設業界に「ゼロ災宣言運動」取組の要請を行いました

山梨県内における建設業の労働災害（休業4日以上死傷災害）は、平成27年には139件と前年に比べて5%の増加となりました。平成23年には107件であったものが4年連続で増加しています。平成28年に入っては、3月末時点での死傷災害は若干減少したものの、死亡災害は3件発生しています（前年同期は0件）。

また、年齢別で見ると高齢層の被災が最も多いのですが、近年は30-40代の中年層の災害が増加しているとともに、平成27年は特に経験年数の短い未熟練者層の災害が増加しています。

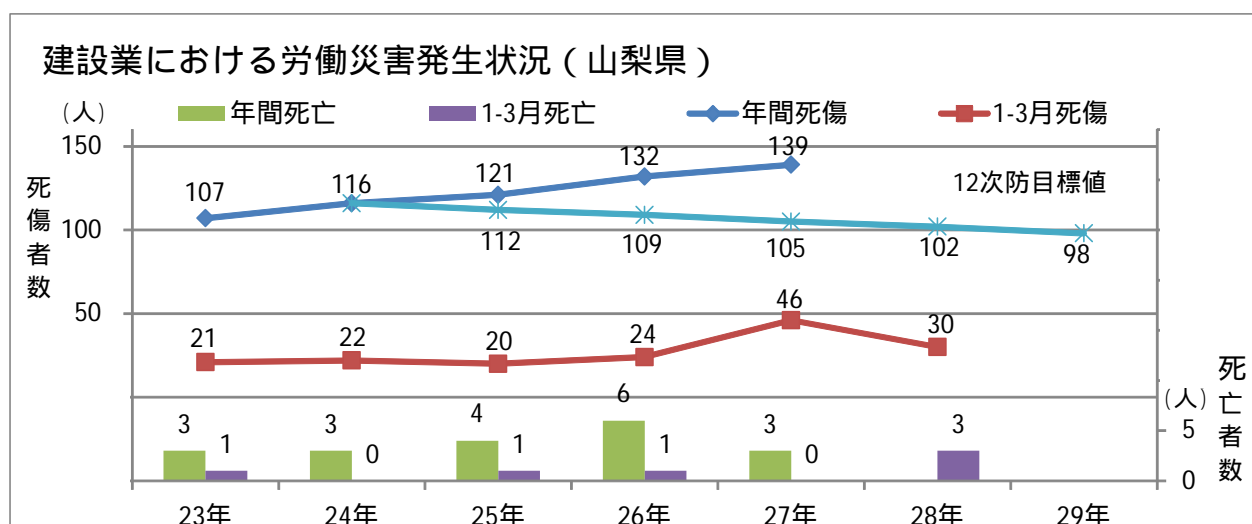
山梨労働局では、これらの状況を受けて、「山梨県建設業ゼロ災宣言運動実施要綱」を策定して、行政・建設業団体及び建設事業者が一体となって災害防止活動に積極的に取り組むよう建設業労働災害防止協会山梨県支部長に対して要請を行いました。

山梨県支部では、今後、組織的に対応するとともに、企業・現場単位においても積極的にゼロ災宣言運動に取り組み、建設業における労働災害の防止に努めることとしています。

この取組は、建設業従事者からこれ以上の被災者を出さないための取組であり、会員事業場であるかないかにかかわらず、また、元請・下請の請負実態にかかわらず、建設業にかかわる全ての事業者が積極的に取組を行い、労働災害防止に努めるようお願いをします。

取組内容の詳細については、

建設業労働災害防止協会山梨県支部（055-221-8810）まで。



山梨労基発0509号第1号
平成28年5月9日

建設業労働災害防止協会
山梨県支部長 殿

山梨労働局長
事務代理 総務部長

建設業における労働災害防止の取組について(要請)

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、労働基準行政に対して御理解・御協力を賜るとともに労働災害防止への自主的な取組にご尽力いただき御礼申し上げます。

さて、昨年の建設業における労働災害(死傷災害)は139件と前年に比べ7件5%増加し、平成24年以降4年連続の増加(30%増)となりました。

さらに、平成28年3月末時点における死傷災害は、前年同期に比べ減少したものの死亡災害については既に3名(昨年同期0名)の尊い命が失われています。

山梨第12次労働災害防止計画においては、平成29年の建設業における死傷災害を98件以内とすることを目標にしていますが、今後の2年間で30%程度の削減が求められる厳しい状況にあります。

労働災害の増加傾向を抑え、大幅な削減を達成するためには、これまで以上の取組が求められるところです。

つきましては、当局において、別添の実施要綱のとおり「山梨県建設業ゼロ災宣言運動」を実施することとしましたので、貴団体及び傘下事業場において積極的に災害防止活動に取り組まれるよう要請します。

「山梨県建設業ゼロ災宣言運動」実施要綱

1 趣旨

山梨県内の建設業における死傷災害は、平成23年の107件以降4年連続で増加し、平成27年には139件とこの4年間で30%の増加となった。

第12次労働災害防止計画においては、平成29年には死傷災害を98件以内とすることを目標としているが、現状からすると今後の2年間で29%以上の削減が求められる状況にある。

また、平成28年3月末時点での死傷災害は14%以上減少しているものの、既に3人の尊い命が失われている（昨年同期は0人）。

これらの状況を受け、今後の2年間に於いて大幅な削減を達成するためには、これまで以上の積極的な取り組みが求められるところであり、以下により「山梨県建設業ゼロ災宣言運動」に取り組み、建設業における労働災害の防止を図っていくものとする。

2 主唱

建設業労働災害防止協会山梨県支部

山梨労働局、甲府・都留・鯉沢労働基準監督署

3 実施事項

1 ゼロ災宣言

各現場・企業において、平成29年3月末日までのゼロ災害を達成すべく、各社とも代表者によるゼロ災宣言を行い、社内及び現場において広く周知するとともに安全衛生管理活動を更に強化する。

2 ゼロ災宣言期間内における重点取組事項

(1) 行政における実施事項

- ア ゼロ災宣言運動の周知・広報
- イ 現場に対する監督指導等の強化
- ウ 建災防各分会の取り組みに対する協力

(2) 建災防山梨県支部・分会における実施事項

- ア 各分会・会員に対する周知・啓発（組織としての宣言を含む）
- イ 各分会・会員の安全活動に対する指導
- ウ ゼロ災宣言取り組みの外部への周知・広報（支部）
- エ ゼロ災宣言実施企業の集約及びHPでの取組公表（支部）
- オ 定期的なパトロールの実施

(3) 企業における実施事項

- ア 店社における取組事項
 - (ア) ゼロ災宣言の店社事務所内掲示及び現場掲示板への掲示の徹底
 - (イ) 経営首脳陣による定期的な現場パトロールの実施

(ウ) 現場代理人、管理者等に対する安全管理研修(講習)の実施

(I) 現場での安全管理活動への積極的支援

イ 現場における取組事項

(ア) 元請事業者による統括管理の徹底

作業間の連絡及び調整

作業場所の巡視及び改善等

持込機械等の把握、点検・補修

新規入場者教育の実施

現場における4S活動の徹底

不安全行動を「しない」、「させない」、「(指導において)妥協しない」の徹底

(イ) 墜落・転落災害等具体的な労働災害防止対策の徹底

墜落・転落災害の防止関係

足場の墜落防止、脚立作業の安全化、仮設通路の安全

丸のこ等機械工具災害の防止

機械の点検、安全装置の補修等

重機等災害関係

機械の点検、無資格就業の厳禁、接触防止、転倒等防止措置等

転倒災害

4Sの徹底、現場環境の整備

障害木伐倒にかかる安全の確保

資格者による作業の徹底、周辺の確認等

(ウ) 安全教育の徹底

現場作業員に対する安全衛生教育

安全作業の徹底、不安全行動の防止

職長等責任者に対する安全衛生教育

安全衛生法の確実な理解、災害防止対策措置、職方の安全管理等

(例)



安全第一

ゼロ災宣言

【取組期間】

平成28年5月 ~ 平成29年3月

【強化する取組】

上記の期間、わが社は、ゼロ災害を達成するため、上記の取組を強化します。

平成 年 月 日

会社名 -----

代表者署名 -----

(社長の自署)

このゼロ災宣言は、全ての労働者が一体となって行動するために、事業場及び現場の見やすい場所に必ず掲示してください。

なお、この取組の広がり把握を把握したいため、宣言後、建災防山梨県支部あて送付していただくようお願いします (Fax 055- -)